



市民交流の集いにコーラス白樺が出演し、式典に花を添えました

八幡平市市民憲章推進大会は11月3日、市総合運動公園体育館で開催されました。約300人の参加者全員で市民憲章を唱和した後、まちづくり尽力した功労者15人、地域貢献などの善行者3人を安比塗の賞状で表彰しました。表彰を受けた皆さんは次のとおりです。(敬称略)

◇功勞表彰▽議会議員 三浦正信(平又)、北口和男(土沢)、高橋光幸(松尾寄木)▽統計調査員 本堂功(荒木田)▽行政連絡員 工藤寿一(大更)▽消防団員 竹田善則(大更)、工藤政敏(大更)、高橋忠一(田頭)、八重樫俊則(平館)、遠藤純一(帷子)、小野寺松美(荒木田)、立花和男(星沢)、畠山智志(打田内)▽交通指導員 田村信也(大更)、泉沢喜佐衛(田頭)

◇善行表彰▽地域貢献 佐々木初男(野駄)▽献血 佐々木修(大更)、伊藤奈穂子(平笠)

## まちづくりへの決意を新たにし市民憲章を唱和



松野小学校(藤沢英俊校長、児童136人)の「松野っ子学習発表会」は11月7日、同校体育館で行われました。「本気!!」をスローガンに掲げたことしの学習発表会。全校児童による合唱で幕を開け、1・2・6年生の劇、3・4年生合同の合唱、5年生による米作りの体験発表など盛りだくさんの内容で行われました。児童会長の工藤綾乃さん(6年)が「短い時間での準備だったが、とてもうまくできた。この取り組みで学んだことを今後の学校生活に生かしましょう」とあいさつし、学習発表会は幕を閉じました。



1年生による劇の一幕



## 松野っ子学習発表会で本気の取り組みを発表

## 漆器の可能性を伝える作家たちの企画展開催

安比塗漆器工房の企画展「漆作家IN八幡平市」は11月3日まで、同工房で開催されました。工房内に並べられた作品はすべて、市内で活動を続ける安比塗工技術研究センターの卒業生12人が制作したもの。出品者の一人で、同工房スタッフの工藤理沙さん(荒屋新町)は「ほかでは見られない個性的な作品が多く、非常に面白い内容になっている。ここ八幡平市から全国に作品を発信している作家もいる。たくさんの方に漆の可能性をもっと知ってほしい」と企画展への思いを聞かせてくれました。



個性豊かな漆器が並べられた企画展



マフラー織ワークショップ (11月3日、安比塗漆器工房)



松野っ子学習発表会 (11月7日、松野小学校体育館)



市民憲章推進大会 (11月3日、市総合運動公園)

すなっぶギャラリー